

科目名	保育実習指導3（保育士必修）			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2022年度 後期	単位数	1	
担当教員	市川 和彦			
内容および計画	<p>本講義では、以下の点について理解することを目標とする。</p> <p>1 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の養護を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。</p> <p>2 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。</p>			
1	実習計画書の作成（1）			
2	実習計画書の作成（2）			
3	部分実習実技（1）			
4	部分実習実技（2）			
5	指導案作成（1）			
6	指導案作成（2）			
7	実習体験のふりかえりと課題の整理（1）			
8	実習体験のふりかえりと課題の整理（2）			
9	実習体験のふりかえりと課題の整理（3）			
10	実習体験のふりかえりと課題の整理（4）			
11	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（1）			
12	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（2）			
13	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（3）			
14	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（4）			
15	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（5）			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
<p>保育実習 I a にて使用した下記のテキストを継続使用するので、毎回持参すること。</p> <p>1) 福島県保育者養成校連絡会 『保育実習の手引き』</p> <p>2) 福島県保育者養成校連絡会編 『福島県保育実習施設』</p>				
参考書				
成績評価				
	評価方法			割合(%)
実習先評価				60
受講態度（教員評価）				20
提出物				20

学習到達目標	児童福祉施設の保育士、児童指導員、家庭支援専門員、コメディカルスタッフ等の他専門職との連携・協働による保育・支援について理解できた。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：障害児入所施設に4年、障がい者支援施設に8年、児童養護施設に3年身を置きケアワークに従事してきた。
その他	保育実習Ⅲも併せて必ず登録してください。